

学部3,4年生、大学院生に対する抗体検査結果 (H19)

対象者	受診者	予防接種対象者				
		麻疹	風疹	流行性 耳下腺炎	水痘	(麻疹および風疹)
6,327人	3,491人	285人	365人	714人	160人	(41人)
	55.2%	8.2%	10.5%	20.5%	4.6%	



2007. 7. 4における対策状況

在籍学生数 (人)	抗体検査受診者 (人)	抗体検査受診率 (%)
10,528	6,976	66.3

抗体検査受診者 (6,976人) における感受性者			
麻疹	風疹	流行性耳下腺炎	水痘
285 人	365 人	714 人	160 人
4.1 %	5.2 %	10.2 %	2.3 %



考 察

- 大学生における麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体が低値の者の割合は予想外に多く、大学入学時に抗体検査・予防接種を勧奨することは重要な保健活動であると考えられる。
- 金沢大学の方法により、抗体価が基準値以下で予防接種を受けない学部新生は、5%内外に抑えることが出来た。
- 計画の遂行にあたり十分なインフォームド・コンセントが必要である。
- 迅速な情報の提供（ホームページ、ポータルサイト、掲示）は重要である。
- 学生健康保険の余剰金を有効な形で、学生に還元することが出来た。



まとめ

- 大学入学時の健康診断における、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘に対する抗体検査・予防接種勧奨は感染症対策として有効かつ実践しうる取組である。

